

令和5年9月16日(土) 3時間目  
4年1組 五十嵐 実来  
算数「およその数の使い方と表し方を調べよう」

【本日のねらい(目標)】

正確な細かい数を概数で表すことを通して、概数の意味について理解することができる。

【読解力向上の視点】

身の回りでおよその数が使われている場面を思い出し、自分の実生活とつなげながら、概数の意味を理解することができるようになる。

【読解力向上ポイント①】

「およそ」「~くらい」「だいたい~」など、概数を表す言葉が使われている生活場面を想起させる。

(自分の生活と算数をつなげる)

【読解力向上ポイント②】

正確な数を、どのように考えて概数にするのかについて、自分の言葉で説明する。

【この授業を通して子どもたちにつけていきたい力(担任からのメッセージ! )】

今回の授業に限りませんが、算数で学習したことが、自分の生活のどのような場面とつながっているかを意識させることで、算数のよさを感じられるようにしていきたいと思っています。また、算数と生活だけでなく、他教科と結び付けていく力にもつなげたいです。課題を解決するために言葉や図を使いながら考えたことについて伝え合う時間を通して、相手に分かりやすく伝えたり、相手の考えを理解しようとしたりする力をつけていきたいです。